

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

May 2009

2009.5.1. 発行 第122号

慶應義塾大学(日吉) HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部(日吉キャンパス事務センター運営サービス内) 編集・発行

日吉コミュニケーション・ラウンジ開設

日吉キャンパスにおける多文化交流を促進すると共に、従来の施設では実現できなかった、既存の枠にとらわれない柔軟な発想での教育や塾生の活動を支援するため、第4校舎 独立館 地下1階に「日吉コミュニケーション・ラウンジ」が設置されました。

「日吉コミュニケーション・ラウンジ」の緩やかに連続する5つのスペースをご紹介します。

・和室「日吉の家」

コミュニケーションを活性化させる空間として見直されている和室。靴を脱いで畳に上がることで、場も和んで会話も弾み、新しい発想を促します。新しい形の授業展開からブレインストーミング、そしてお茶会まで、アイデア次第でいろいろな用途に利用できます。



・学生活動支援スペース

可動式パネルを動かすことにより、オープンスペースを活かした授業、講演会やディスカッション、あるいは展示会などシーンにあわせ様々な使い方ができます。

・インフォメーションスペース

海外留学情報収集のために各種資料の閲覧ができ、留学相談会なども定期的で開催される予定です。受付デスクにはスタッフが常駐し、日吉コミュニケーション・ラウンジの利用予約受付や、鍵・機材の貸出に応じます。

このほか、オレンジ色のソファが印象的で空港やホテルのラウンジを思わせるラウンジ、また、遠隔授業や遠隔会議等の日常的な利用から、国際シンポジウムなどのイベントにも利用できる最新の機材が揃ったスタジオ、日吉グローバルスタジオもあります。(インフォメーションスペース以外の各室名称は2009年4月時点での仮称です。)



利用時間：原則として平日の9:00～18:00

利用方法：予約利用を優先します。ただし、予約の無い時間は自由利用となります。

予約方法：各スペースは、個別、あるいは組み合わせでの予約が可能です。主として、教職員・学生団体が主催する教育・研究による集会などで義塾が認めたものが予約利用できます。

空き状況の確認、申請方法等の詳細は hy-lounge@adst.keio.ac.jp までお問い合わせください。

* ただし、2009年春学期は試行期間として教職員および委員会が指定する特定の活動の利用に限定しています。一般学生団体への貸出は、2009年秋学期以降を予定しています。



日吉キャンパス情報



2009 年度新入生歓迎行事

新入生を主な対象としていますが、どなたでもご参加いただけます。入場無料。

問い合わせ先：日吉行事企画委員会（HAPP） <http://happ.hc.keio.ac.jp/>

ギターに生きる—坂場圭介を聴く

5月21日（水） 16:30 開演 来往舎イベントテラス
演奏者本人のトークを交えたギター演奏

台湾映画『九月に降る風』上映・講演会

5月27日（水） 15:00 映画上映 17:00 講演会 来往舎シンポジウムスペース
台湾映画の上映・講演会

演奏会シリーズ「啓蒙主義と音楽」

連続演奏会

- 第1回 6月8日（月）18:15 開演 来往舎シンポジウムスペース
講演・対談：「フランス・ロマン主義の再発見 - アルカンのピアノ音楽を中心に」
- 第2回 6月15日（月）18:15 開演 来往舎シンポジウムスペース
「啓蒙主義からロマン主義へ」～寺嶋陸也ピアノ・リサイタル
- 第3回 7月3日（金）18:15 開演 来往舎シンポジウムスペース
「転換期のチェンバロ音楽」～広沢麻美チェンバロ演奏会
- 第4回 7月15日（水）16:30 開演（予定） 来往舎イベントテラス
「啓蒙主義時代の音楽」～慶應義塾コレギウム・ムジクム演奏会
ヨーゼフ・ハイドン没後 250 年を記念して



環境週間

6月22日（月）～27日（土） 日吉キャンパス・三田キャンパス
パネルディスカッションや展示講演会などのイベントを開催し環境問題への関心を喚起する

土のいのち～泥だんごと左官の技

7月4日（土） 来往舎イベントテラス
泥だんご制作ワークショップと左官による土の造作技術実演付き講演会

OTO（おと）の会新作コンサートシリーズ No.11「来往舎 秋・空・響」：Part2

10月3日（土） 来往舎イベントテラス
ダンサーを交えた邦楽と洋楽の演奏会

塾長と日吉の森を歩こう

日程未定 日吉キャンパスおよび来往舎イベントテラス
塾長と学生がともに日吉の森を散策

日吉キャンパスからのお願い



構内は歩行禁煙です。タバコは決められた場所で吸って下さい。



日吉キャンパスは自転車での通学ができません。
乗ってこられる方は、横浜市の駐輪場をご利用ください。



構内のゴミの分別にご協力ください。

教養研究センター

極東証券寄附講座「生命の教養学」一般公開ゼミ サイエンス・カフェ12「夜の森のにぎわい - 野ねずみ達の暮らし - 」

夜の森の中、そこは野ねずみ達の世界です。真っ暗闇の中、彼らはどんな風に暮らしているのでしょうか？当日は、彼らの暮らしぶりを紹介するとともに、みなさんに夜行性の動物になってもらいます。夜行性の哺乳類の世界がどのようなものが体験してみましょう。

日 時：5月30日(土) 14:00～16:00

講 師：坂本 信介(総合研究大学院大学/首都大学東京)

場 所：来往舎イベントテラス

参加費：200円(資料・飲み物代)

お子様から大人までどなたでもご参加いただけます。

なるべく事前に、ファックス、eメールなどでお名前・人数・連絡先をお知らせください。

問い合わせ先：教養研究センター

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp/tel.045-566-1151/fax.045-566-1102



HAPP 公募企画を募集!

教養研究センター日吉行事企画委員会(HAPP)では、塾生または教職員が企画・実行するイベントに対して、補助(1企画25万円まで)を企画主催者として行います。補助を受ける企画には、キャンパス内だけでなく、キャンパス外コミュニティとの交流が視野に入っていて、その内容には大学の特性が生かされているべきであると考えます。

応募資格者：塾生および教職員

補助金額：1件につき25万円まで

募集件数：5件程度

応募期間：4月13日(月)～5月29日(金)

申し込み用紙提出先：日吉学生総合センター窓口

または日吉キャンパス事務センター運営サービス総務担当

最終結果発表：7月10日(金)

問い合わせ先：経済学部 石井 明(来往舎研究室)内線：33342

hy-happ@adst.keio.ac.jp

採択された企画は、平成21年9月25日(金)から平成21年12月末までの間に、日吉キャンパス内の施設(塾生会館を除く)を利用して実行することとなります。

6月初旬に、5月29日(金)までに申し込みがあった企画を対象に説明会を開催します。その後正式な企画書を提出していただき、これが最終審査の対象となります。

2009年東京六大学春季リーグ戦

5月2日(土) 東京大学 - 慶應義塾大学

5月17日(日) 慶應義塾大学 - 法政大学

5月3日(日) 慶應義塾大学 - 東京大学

5月30日(土) 早稲田大学 - 慶應義塾大学

5月16日(土) 法政大学 - 慶應義塾大学

5月31日(日) 慶應義塾大学 - 早稲田大学



詳細は、東京六大学野球連盟公式ウェブサイト <http://www.big6.gr.jp/> または、慶應義塾大学体育会野球部公式HP <http://baseball.hc.keio.ac.jp/sr/2009Sleague.html> をご覧ください。

港区+慶應義塾大学アート・センター アート・マネジメント講座2009

第1回公開講座「『意心帰』をめぐる 安田侃(かん)の仕事」

北イタリアを拠点に活動する安田氏の作品は、美術館のみならず、丸の内、東京ミッドタウンといった都市開発プロジェクトでも高い評価を得ています。美術館や企画展プロデュースなど美術分野で活躍する鈴木氏とともに、安田氏が作品に込めている“思い”を語っていただきます。

レクチャーに先立ち、安田氏の作品が展示されたアルテピアッツァ美唄(北海道)について、ケース教材を用いて紹介します。

日 時：2009年5月9日(土) 13:30~16:00(13:00開場)

場 所：三田キャンパス 西校舎 517番教室

レクチャー「アルテピアッツァ美唄」講師：平田雅(NPO法人アルテピアッツァびばい 会員)

講演「時に触れる」安田侃(彫刻家)

モデレーター：鈴木隆敏(慶應義塾大学大学院アート・マネジメント分野講師/元彫刻の森美術館館長)

対 象：港区内に在住・在勤・在学の方(定員300名)

ただし、慶應義塾の学生・教職員は、三田キャンパス以外でも可。

参加方法：事前申込不要・参加無料 当日、会場へ直接お越しください。

ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/event/log/302.html>



《意心帰(いしんき)》2006年 東京ミッドタウン プラザ地下1階

「ワークショップ 上演系/展示系」

アート・マネジメントの専門性を深めるため、実践的な内容を含むワークショップを行います。音楽を主体とした上演系と、美術等に関わる展示系の系統別の講座を開講します。

日 時：2009年6月から2010年1月の間にのべ10回程度

場 所：三田キャンパス他

対 象：港区内に在住・在勤・在学の方(定員：各20名)

ただし、慶應義塾の学生・教職員は、三田キャンパス以外でも可。

参加方法：事前申込制/受講料3000円

申込み方法など詳細は、ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/event/log/303.html> をご覧ください。

主催：港区/共催：慶應義塾大学アート・センター

問い合わせ先：アート・センター アート・マネジメント講座担当 art-c-minato@adst.keio.ac.jp

[国際舞踏ワーク・イン・プログレス]

磁場、あるいは宇宙的郷愁 Les Champs Magnétiques, ou Nostalgie Cosmique

国際的に活躍する3人のダンサー・振付家である、室伏鳩、ボリス・シャルマツ、ベルナルド・モンテが、それぞれの創造行為への敬意と、これまで築き上げてきた相互の信頼をベースに、さらに発展的で探求的な共同創作に踏み出している。

国境を越えて移動し、世界各地で身体表現を模索する3人がついに日本に集結し、日本での初めてのコラボレーションが実現する。世界が注目するダンス・プロジェクト、待望の慶應・日吉セッションである。

日 時：2009年5月28日(木) ダンス映像上映16:00~、公演19:00~

場 所：日吉キャンパス・来往舎イベントテラス

問い合わせ先：アート・センター 舞踏公演担当 art-c-butoh2009@adst.keio.ac.jp